

## セオの健康告知板和人参

おかげさまで  
創業60周年  
セオ薬局お客様  
健康勉強会その②

今年第2回目の“お客様健康勉強会”が  
5月16日(木)いづろ店5階で開催され、  
18名の参加をいただきました。

『自律神経のトラブルには若甦』と題し、  
薬用人参製剤若甦について日東薬品工業株  
式会社の上田 秀 先生のお話です。



「自律神経のトラブルには若甦」  
講師：日東薬品工業 上田 秀先生  
平成 25 年 5 月 16 日 (木) アリマビル 5 階



若甦インペリアル

冷えと心身の疲れに効く！

元気の源

“若甦”

『自律神経のトラブルには若甦』

『若甦』は、昭和46年に“薬用人参”を

主体とした、滋養強壯剤として開発されま  
した。現代人の疲れを日々研究し、肉体的疲  
勞・精神疲労両面に着目した商品各種にな  
っています。身体を内側から温めて、人間  
が本来持っている自然治癒力や、自律神経  
の働きを高めて、根本から元気にするもの  
です。

『若甦』は各シリーズ商品で、交感・副  
交感、どちらの神経も高めてくれます。

### 自律神経ってなに？

“自律神経”とは、様々な環境の変化に対  
応するために調整をしてくれるもので、自  
分の意志では、動かす事が出来ません。自  
律神経には、リラックス型の副交感神経  
(※1)と、活動型の交感神経(※2)の二つ  
があります。

※1緊張をほぐし、体を休ませる。夜の神経  
※2エネルギーに動いたり、ストレスに  
対抗するための態勢にする。昼の神経

### 免疫の働きと自律神経

“自律神経”は免疫の働きを支配して  
おり、交感・副交感、両方が高いレベルで  
良く働いてバランスが取れている事が大  
事なのです。

副交感神経(リラックス型)が働くと、心  
拍数が減り、血管が拡がり血流が促されま  
す。血圧が低下し吸収が深くゆったりにな  
ります。胃腸等から消化液を分泌させ、排  
便を促します。

免疫系では、リンパ球(ウイルスに作用  
する白血球)の分泌が増加します。しかし、  
過剰になりすぎると、抗原に対して、必要  
以上に過敏に反応し、アレルギー症状やア  
トピーを発症したり、うつや気力減退が起  
こる事もあります。

他方、交感神経(活動型)が働くと心拍数  
が増え血管が収縮し、血圧が上昇します。  
呼吸は浅く早くなります。胃腸等、消化管  
の働きを抑え、体を活動的にします。緊張  
や興奮した時にも働きます。

免疫系では顆粒球(細菌に作用する白血

球)の分泌が増加します。しかし、過剰になりすぎると、活性酸素が発生し、炎症を起こし、自らの組織を破壊します。血行が悪くなり、高血圧や心筋・脳の梗塞、ガンや潰瘍、糖尿病等を引き起こす事もあります。

又、自律神経はどちらかが過剰に働いても血流障害になり、低体温になります。低体温になると新陳代謝の低下、血行不良、酵素活性低下による内臓機能低下、免疫力低下、自律神経・ホルモンバランスの乱れ等々、様々な悪影響を招きます。

「若甦シリーズ」の中から、今回は「若甦内服液」と「若甦温」をとりあげます。

朝一番に「若甦内服液」のお湯割りを、夜寝る前に若甦温(お湯に溶いて)の服用が効果的です！

【注】胃の内側には「太陽神経叢」という自律神経の集まった部分があり、ここを温めると各臓器が活性化されます。だから「お湯割り」なのです。



お湯割りが効きます！



### 爪もみ・笑い

すぐできる免疫力・自律神経の働き向上法として、手足の『爪もみ』(交感神経を刺激する時は薬指を、副交感神経を刺激する時は薬指以外の爪をもむ)と、『笑い』です。笑いは作り笑いでも効果があります。食養生では、陽性(あたためる)・陰性(冷やす)食品の分類と、摂り方等を、わかりやすくご説明下さいました。

### 《あとがき》

皆さんで若甦内服液のお湯割りを飲んで、いざ勉強会へ・・・。  
忙しすぎる現代社会は、交感神経優位になりやすく、冷え症・低体温の方が増えています。

季節の変わり目は、自律神経の働きが乱れ易い時期でもあります。『若甦』で身体の内側から温めて、自律神経を整え、免疫力アップ！皆様のはつらつ人生に『若甦』をお役立て下さい。



若甦 参甘黄カプセル